



スノーボード スノーボードクロス(SBX)


小栗大地選手と市川貴仁選手が5位入賞！

日本からは6名の選手が出場し5名が準々決勝を突破し、小栗大地選手と市川貴仁選手が5位、小須田潤太選手7位、岡本圭司選手、大岩根正隆選手がそれぞれ8位入賞となりました。

【日本選手の成績】

▼LL1の部

- 5位 小栗 大地 (SB-LL1/愛知県、三進化学工業株式会社)
- 7位 小須田 潤太 (SB-LL1/埼玉県、株式会社オープンハウス)
- 【優勝:タイラー・ターナー(カナダ)】

▼LL2の部

- 5位 市川 貴仁 (SB-LL2/埼玉県、エレマテック株式会社)
- 8位 岡本 圭司 (SB-LL2/兵庫県、牛乳石鹼共進社株式会社)
- 12位 田淵 伸司 (SB-LL2/兵庫県、兵庫県立和田山特別支援学校)
- 【優勝:マッティ・スールハマリ(フィンランド)】

▼ULの部

- 8位 大岩根 正隆 (SB-UL/東京都、株式会社ベリサーブ)
- 【優勝:紀 立家(中国)】



LL1:下肢障害、LL2:下肢障害、UL:上肢障害

▼小栗 大地選手 5位という結果で非常に悔しいですが、最後のスモールファイナルはベストな滑りもでき、とても楽しい1日でした。また、チームとしてもメダルこそのがしましたが一丸となり全員がベストな滑りを出せたのでとても充実したレースになりました。それもここまで支えてくださったスタッフ、応援してくださった皆さんのお陰だと思えます。ありがとうございます！バンクドスラロームも頑張ります！

▼小須田 潤太選手 スノーボードクロス7位が、実力通りの結果だと思います。最後まで表彰台を目標に戦いましたが、単純に実力不足でした。ですが今日、最高のメンバーとサポートのもと、最高のチームで戦えたことは誇りです。感謝しかありません。次は12日のバンクドスラローム、全員で最高の滑りをします！

▼市川 貴仁選手 皆様応援ありがとうございました。スノーボードクロスを終えて、5位という結果になりました。初出場のパラリンピックで、ここまで熱い戦いができると思っていませんでした。これからの4年後に向けて、自分のウィークポイントを直して上位の選手に食らいついていけるように、そして、メダルを取ることを目標に頑張っていきたいと思えます。また、5日後のバンクドスラロームに向けてしっかり調整して、表彰台を取れるように狙っていきたいと思えますので、引き続き応援よろしくお願い致します。

▼岡本 圭司選手 結果は8位でしたが、自分にとっては最高の8位です。スタートセッションがテクニカルではなくシンプルで、その代わりに直線が長く、どうしても自分には長所を活かすにくいコースだったのですが、その中で予選、決勝トーナメント共にベストな滑りが出来ました。ここまで4年近く取り組んできた中で培ってきたものを余すことなくさせた事、そしてここまで一緒にたどり着いた他国のライダー達と最高のセッションが出来た事に大きな喜びを感じています。全員で最高のレース、パイプスを作り上げる事が出来ました。また、チームのライダーはもちろん、スタッフの皆にも感謝しています。こんな自分をここまで引っ張り上げてくれて、入賞までさせてもらったのは全てチームと、日本の皆のお陰です。心から感謝しつつ、11日のバンクドスラロームに備えたいと思えます。

▼田淵 伸司選手 12位という結果でしたが、自分にとっては全力で臨んだ結果なので悔いはありません。応援して下さった方々の期待には応えられませんが、このパラリンピックという最高の舞台上、スノーボードクロスの最後の最後に岡本圭司選手と本気で戦えたことを光栄に思えます。本当にありがとうございました。

▼大岩根 正隆選手 今回のパラリンピックの舞台上では、自分自身にとって、多くの挑戦が出来ました。自身の考えた作戦にチャレンジしたり、また、ワールドカップでトップをキープしているフランス人選手に勝てたことは、大きな自信になりました。これからの自分自身の伸びしろを感じることができ、更にレベルアップした新たなステージに向かって前進したいと思えます。